かまくらの不思議を歩こう ⑤

要山の根源を探る

大貫昭彦

＊市内最強の山

アース・パワー探索家の大根弘行師が、鎌倉市内で最も強くパワーを感じたのは扇ガ谷だそうです。そこで大根会の人たちと訪ねました。

場所は、亀ヶ谷の切通下。薬王寺の向かいの山で、南西が垂直な崖になっており、崖下に諏訪社の祠が鎮座していました。パワーを発するのは、祠の直前、やや左に寄った所で、そこに立つ人の内、何人かは姿勢がふらつきました。霊感の鋭い人は、パワーに気後れして参道の途中で立ち止まるほどでした。大根師は、もっと強いパワーの発信源が左の畑、それも奥の岩石にあると指さしました。

＊扇の要

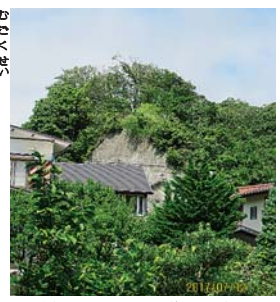
山の名前は要山。扇の要を意味する名です。確かに扇ヶ谷は、要山を基点に勝因寺跡、海蔵寺、智岸寺跡などの谷へと、扇形に開いています。また、山の名には山裾にある扇の弁（個人宅にあるので見学不可）に由来する説もあり、静御前が山上で舞い、この時扇を落したという眉つば説まであります。

＊将軍を守る山

要山は、鎌倉全域にとっても、重要な位置にあるようです。前に鎌倉は四神相応の町であると説明しましたが、占星術では、身分の高い人の住居の西には、武器庫を置くのを良とするとします。

京の都の場合、西に武器庫を意味する兵庫があり、六つの兜を格納する六甲山が連なっています。鎌倉の場合も、鶴岡八幡宮の背後に大臣山（大倉）があり、西に鷲山、浄光明寺の山、要山、源氏山が続き、将軍御所を守護する役を担っています。

「新編鎌倉志」は「西に高き山は武曲星に相当る。其名を武山…。また西に山あり。武庫と号す。亀谷の山也。…此等の山に悉く倉庫の名あり。…武将居を成さんに於ては吉慶あるべし」と記しています。武曲星は勇気、豪毅を示す星です。要山のパワーはここに発しているのかもしれません。



扇ガ谷の要山＝強いパワーの発信源がある

＊八雲の神の集う山

しかし、大根師は要山に宿る力は八雲神社とも関連すると言われます。八雲神社は市内に四社、大町、西御門、北鎌倉、常盤にあります。四社を線で結ぶと不思議にも要山で交差します。祭神は、仏教では祇園精舎を守る牛頭天王、薬師如来の化身とも解釈されます。

神道では粗暴な素戔嗚尊ですが、後に温和な農業神に変わり、今は厄除けの社として信仰されています。

崖下に鎮座する諏訪社の祠

＊妖僧の霊力？

要山のパワーの源泉は、他にも考えられます。隣接する畑地は勝因寺跡といわれます。南北朝時代に開かれ、間もなく消えたはかない寺ですが、開山は妖術に長けた志一上人です。「太平記」に登場し、足利将軍を呪詛したり、狐を使って一晩で九州から鎌倉まで書類を届けさせたりした僧侶です。上人ゆかりの神社は、勝因寺跡とは背中合わせの鷲山にあります。志一稲荷社です。背筋のひんやりする偶然です。

＊粗末にできぬ鎌倉

要山の辺りには、湯脈が通じているようです。畑を過ぎ、切通の手前に来ると、右奥に鳥居が見えます。扇ヶ谷村の古絵図には坂中天神、「新編鎌倉志」には霊梅堂とある社で、今は霊梅社と呼ばれています。ここに近年まで銭湯がありました。

また、切通の中ほどのマンションも、30年前までは香風園という鉱泉旅館で、頼朝の隠し湯があることで知られていました。さらに上ると、左に墓地があり、ここには建長寺の修行僧のための療養所があったといいます。湯治の施設もあったのではないでしょうか。

このように要山のパワーの根源は、いろいろ考えられます。鎌倉には、あだ疎かにできない所がまだまだありそうです。を文化資源として活用すれば観光の元となり地域の資源になるので同研究会の活動を鎌倉の保存と観光に役立ててほしいと激励した。

元県立歴史博物館主任学芸員で現日本女子大学教授・古川元也さんは、同研究会の黎明期の鎌倉研究を評価し、「在野の、市民の側からの同研究会の文化財保護活動は、今後一層重要になってくる」と活動を称えた。八幡会長は、「当会が大切にしていることは、現地を訪れてその土地の人とふれあいながら、研究することで、今やるべきことは、発掘した史料をいかに後世に残すかということ」と語った。

祝宴では、交流団体の代表から、同会は例会のレジメなど記録が念入りに作成されていること、八幡会長のダジャレが場をなごませることなどが披露された。鎌倉時代の食事を再現した祝い膳をなごやかに囲み、唱歌「鎌倉」の大合唱で宴を終えた。（4・5面に特集）

東京五輪

葉山でキャンプ

英国チームと町が協定締結式

江の島が会場となる2020年東京五輪のセーリング競技に照準を合わせた英国セーリングチームの事前キャンプ地が葉山町に決まり、同町と英国王立ヨット協会、宿泊施設を提供する大同生命保険が、7月7日葉山新港で協定締結式を行った＝写真。

同チームは、昨年の江の島での国際大会で同町の魅力や地理的条件などの情報を山梨崇仁町長から受けたことから日本ヨット発祥の地・葉山をキャンプ地に選択。海からも近い研修施設が宿泊先として提供された。今年は7月と10月の約2カ月の滞在で、来年以降も宿泊施設を提供する予定。

会場には約百人の町民が集まり、宿泊先そばの明照幼稚園園児らが手作りの金メダルを選手にプレゼントした後、英語での挨拶や歌を披露。選手らとともに願い事を七夕の短冊に託した。

他国に先駆けて来日したジョン・バートランドコーチは「葉山は交易にコースに出ることができる理想的な立地。町の皆さんの歓迎の気持ちも大きい」と評価。地元のあずま町内会・萩原幹子会長も「選手を家族として迎えたい」と英国チームへの歓迎と応援の言葉を贈った。（K）

祭りだ わっしよい！

大町・八雲神社で神輿振り

鎌倉市大町の八雲神社の祭礼が7月8日から10日まで行われ、初日午後7時、提灯に火を灯した4基の神輿が揃いの半てん姿の氏子ら約150人に担がれて町中に繰り出した＝写真。午後9時近くに神輿振りは最高潮に達し、4基の神輿が大町四ツ角に横一列に並び、ぴったりと組んであたかも1基のように進む光景は圧巻だった。

鶴岡八幡宮で七夕祭

7月7日鎌倉の鶴岡八幡宮で七夕祭が行われた＝写真。

同宮では7月1日から9日までの七夕まつりの期間中、境内に吹き流しや七夕飾りが飾られ、参拝者は願い事を短冊絵馬や梶の葉色紙に書いて舞殿前にかけた。子どもの健やかな成長の願い、大学や就職試験の合格祈願などさまざまな願い事が書かれていた。

7日は夕方から琵琶や琴、筆硯などの「乞巧奠」の供え物が供えられた舞殿で吉田茂穂宮司の祝詞奏上などの祭典が行われた。そのあと鶴岡幼稚園園児たちがリズム（踊り）や七夕の歌を披露。「できばえは花丸」と宮司にほめられ園児たちは大喜びだった。

創立81周年 例会1000回 記念講演と祝宴

國寶史蹟研究會

國寶史蹟研究會（八幡義信会長・会員約180人）が創立81周年、例会千回を迎えた記念講演会・祝宴が7月2日鎌倉の鶴岡八幡宮直会殿で開かれ、会員や来賓ら約160人が参加した＝写真。

講演会では、鶴岡八幡宮・吉田茂穂宮司が「現在の鶴岡八幡宮」と題して、マッカーサー元帥が当宮を4回訪れていたことなどに触れながら神道について話した。

武蔵野文化協会の坂詰秀一会長は「鎌倉の観光考古学」と題して、遺跡

新川清掃に高校生ら2百人

鎌倉西ライオンズクラブ

鎌倉の深沢地区を流れる新川の清掃活動が7月5日の午後から行われ、県立深沢高校の生徒約2百人が参加した＝写真。

今年11回目で、鎌倉西ライオンズクラブ（石井満会長・会員16人）と深沢まつりの会が主催。作業は常盤の深沢行政センターと、梶原の中外製薬周辺の2カ所で行われ、主催者のメンバーほか老人クラブや中外製薬社員らも参加した。

参加者たちは運動靴や長靴で川の中をジャボジャボ歩き、ゴミ探し。8月5・6日の「ふかさわ夏まつり」で灯ろう流しをするため、川の清掃は不可欠。清掃の甲斐あってか、ゴミは年々減り「数年前からホタルが飛ぶのも見られるようになった」とロータリー会員。その代わり川底の藻や岸と土手の雑草は伸び放題で刈り取るのが一苦労。市の職員が刈り取った草をクレーンで吊り上げてトラックに積み込んだ。

桜と蓮の寺
浄土宗大本山 光明寺
精進料理や行事のことなど
お気軽にお問合せください。
精進料理のご予約は電話にてご連絡下さい。
十夜法要（10月12日～15日）
※13日・14日は露店がでます。
〒248-0013　鎌倉市材木座6-17-19
☎0467-22-0603
http://komyoji-kamakura.or.jp

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/